

**品川区シルバー人材センター
平成 28 年度事業報告**

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 戸 川 五 郎

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和52年4月に高齢者事業団として設立以来、平成23年度には新たに公益社団法人としての認定を受けて、高齢者の多様なニーズに対して働くことを通じて社会貢献をしてきたところである。

さて、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況を見ると、この数か月、毎月発表される景気判断においては強弱を織り交ぜた表現に終始しており、ますます景気の先行きに不透明感が増している。

このような状況の中、平成28年度は、第四次中期計画の初年度であり「シルバー世代の活躍と地域貢献を目指して」の理念の下に重点事業として定めた各事業の推進に鋭意取り組んできた。

その結果、会員数については平成28年度末で前年度より75名、3.0%減の2,438名と言う残念な結果になった。この要因は、昨年度に引き続きこれまでセンターの中心的存在であった層が高齢、病気などの理由により退会していく一方で、企業等の雇用延長等により60歳代の入会者が少なくなっていることによると考えている。

事業実績については、受託件数は17,701件と昨年度から135件の減となったが契約金額は、12億5千6百万円と昨年度とほぼ同様の実績となった。これは、公共部門については新たな契約もありやや実績が伸びているが、民間部門については全体として小口の契約が増えて契約金額総体が一回り小さくなったことによる。

一方、センターの大きな課題として挙げられていた事故の発生については、23年度以降初めて前年度の27件から13件と半減し、平成20年度以来の10件台の発生件数に留まることができた。これは安全管理委員会の活動強化、地区委員会の声掛けや会員の皆様のご協力が功を奏したものと考えている。しかしながら安全就業についてはこの一時的な結果に慢心することなく取り組みを継続していくことが何よりも重要である。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区 分	当 初 事 業 目 標	事 業 実 績		
		実 数	目標との比較	前 年 度 比 較
会員数	2,700 名	2,438 名 (男性1,391名女性1,047名)	△ 262 名 (9.7%減)	△ 75 名 (3.0%減)

就業実 人員	年 間 2,100 名	年 間 2,087 名	△ 13 名 (0.6%減)	△ 35 名 (1.6%減)
就業延 日人員	年 間 304 千人	310,033 日人	6,033 日人 (2.0%増)	△ 4,564 日人 (1.5%減)
契約金額	年 間 127,000 万円	1,256,155,246 円	△ 13,844,754 円 (1.1%減)	△ 1,245,101 円 (0.1%減)
		内 公 共 432,982,614 円	/	15,460,515 円 (3.7%増)
		訳 民 間 823,172,632 円		△ 16,705,616 円 (2.0%減)
受託件数	年 間 16,500 件	17,701 件	1,201 件 (7.3%増)	△ 135 件 (0.8%減)

II. 公益目的事業について

事業 1 就業機会の確保・拡大

1. 就業機会確保事業について

(1) 公共の仕事

公共の仕事として区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターの受付管理、選挙公報や区議会だより等の配布などを実施した。区との連携事業としては喫煙マナーアップ啓発事業、資源回収受付、しながわ出合いの湯運営業務など併せて 649 件の事業を行った。そのうち新規事業は品川区民憲章等の額装・額縁の搬入など 9 件であった。

(2) 請負・委託事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業は年間を通じて着実に実施したが総数では昨年度より 135 件下回った。そのうち新規の契約は 1,188 件で多くはマンション清掃だが、他に校正事務やイベントの受付業務などもあった。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなってきたことを反映して、粗大ごみの搬出や電球の交換、病院の付き添いなどのご依頼が多くなってきている。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図ってきたが人員確保は思うように捗らなかった。しかしダブル就業の推進で対応し好事例も出てきている。引き続き人員確保とダブル就業の推進に努めるとともに、料金体系の見直しなども検討していく。

①地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	323 件	室内外の片付け・整理・清掃	146 件
粗大ごみの搬出・解体	96 件	病院・買物の付添代行	84 件
家具移動・その他	136 件		

地域コンビニサービス計 785 件

②家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除	101 件	洗濯および掃除	32 件
食事作り	10 件		

家事援助計 143 件

③育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	18 件	見守り	3 件

育児支援計 21 件

④学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。平成 28 年度は小学 3 ～ 6 年生を対象とし各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

○小 3 ～小 6 各学年 1 クラス 生徒総数 25 名

⑤いきいきプラザ事業

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として、引き続き、封入作業や検品作業などの内職作業を積極的に受注し取り組んだ。

実績 153 件

(4) 地区委員会の活動について

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働」「共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて積極的に活動を展開した。

①定期的な地区委員会の開催

毎月、定期的に地区委員会を開催しセンターの直近の話題、課題について意見交換するとともに地区全体会のテーマや日帰りレクの検討など積極的な運営に努めた。また、会報シルバーしながわの配布を実施した。

②地区全体会の開催

夏期、新年に地区全体会を開催し、個別テーマによる勉強会を兼ねて会員の知識の向上に努めるとともに安全管理委員等がセンターの大きな課題である安全就業について訴えた。

その中で新年全体会においては「適正就業ガイドライン研修」を会長、事務局長等が自ら講師を務め会員への理解の増進に努めた。

また、仕事の募集・会員募集等のポスターの掲出を出席会員に依頼した。

地区全体会の開催 各地区 年2回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	8/6 開催 59名	○新手法おれおれ詐欺 講師 品川警察署署員	1/14 開催 68名	○適正就業 ガイドライン 講師 戸川会長
品川南	8/27 開催 44名	○高齢者の健康管理につ いて 講師 品川保健所職員	1/22 開催 39名	○適正就業 ガイドライン 講師 久保田事務局長
大 崎	8/7 開催 41名	○成年後見制度について 講師 しんきん成年後見 サポート職員	1/29 開催 47名	○適正就業 ガイドライン 講師 久保田事務局長
大井東	8/28 開催 51名	○成年後見制度について 講師 しんきん成年後見 サポート職員	1/29 開催 48名	○適正就業 ガイドライン 講師 久保田事務局長
八 潮	8/7 開催 40名	○自然災害の対策と準備 講師 八潮防災協議会 会長 本間譲	1/22 開催 42名	○適正就業 ガイドライン 講師 戸川会長
大 井	8/21 開催 40名	○高齢者の安全と事故防 止について 講師 大井警察署署員	1/29 開催 52名	○適正就業 ガイドライン 講師 戸川会長
大井西	8/14 開催 28名	○高齢者の交通事故防止 について 講師 大井警察署署員	1/21 開催 24名	○適正就業 ガイドライン 講師 山崎次長
荏 原	8/14 開催 64名	○「自転車事故」起こさ ない・巻き込まれない 講師 荏原警察署署員	1/21 開催 82名	○シルバー人材セン ターの現況及び適正 就業ガイドライン 講師 久保田事務局長
中 延	8/6 開催 65名	○「母に振り込むバラード」 講師 凡从亭 志ん功	1/9 開催 63名	○適正就業 ガイドライン 講師 久保田事務局長
戸 越	8/21 開催 58名	○成年後見制度について 講師 しんきん成年後見 サポート職員	1/20 開催 75名	○適正就業 ガイドライン 講師 久保田事務局長

③地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催し、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに新入会員へ対して地区委員長の紹介、就業相談等を行った。

④ボランティア活動

会員による手品の披露、荏原音楽倶楽部とアコーディオン伴奏による日本唱歌の合唱など、福祉施設を訪問し入所者の皆さんとともに楽しいひと時を過ごした。

(社福) 品川総合福祉センター八潮在宅サービスセンター 10月4日(火) 参加人数16名

2. 就業機会拡大事業について

就業開拓専門員が、区内の中小企業事業者を対象に訪問活動やダイレクトメールを送付し就業開拓を行った。また、区内全域でのポスティングを行い、問い合わせや下打合せにはすぐに伺うなど中小マンションの清掃や技能系分野の受注拡大に努めた。

ポスティングについては、部数の多かった11地域を分割し、新たに11名のポスティング担当会員が就業することで、より正確かつ迅速な配布体制の実現に努めた。

一方、各家庭に対しては、昨年引き続き町会自治会回覧板を活用し、さらに今年度は回数を増やし、区広報紙による会員募集と同時期に行い相乗効果を狙った事業展開を行った。

ポスティング配布数 約80,000件(一斉40,000件、随時40,000件)

町会回覧板のPR 6月、9月、11月、2月 年4回

事業2 普及啓発事業

1. 会員募集の取組み

会員の入会強化は28年度の三つの基本方針の一つであり、会員募集ちらし、ポスターを刷新するなど継続して多様な手法での募集事業に取り組んだが入会会員は234名、退会会員が309名で75名の減という結果になった。

年代別に見てみると60歳代が109人、70歳代117人、80歳代が8人であり70歳代の入会が多かった。

区の広報しながわ 年4回実施、区の統合ポスター 2回実施

品川区シルバー大学での加入案内、その他区の関連施設でのパンフレットによるPR

町会回覧 6月、9月、11月、2月 年4回

品川ケーブルテレビのCM募集広告(6ヶ月間)

新入会員の会員募集及び事業用ちらし配布 40,000枚

会員による会員募集ポスター貼付 400枚

その他 東急バスの車内放送、新馬場駅前の案内板広告など

また、会員の健康維持策の一つとして定時総会の場を活用して体力測定会を実施した。

測定項目 握力測定、血圧測定、連続立ち上がり動作など

2. 積極的な広報活動の展開

(1) 会員による新しく刷新した事業用ちらしの配布 38,000 枚

(2) ホームページの活用

リニューアルしたホームページを有効に活用して発注者向けや会員向けの情報発信をタイムリーに行い、センターのPRを実施した。また、発注者向けに「適正就業のガイドライン」を添付して周知を図った。リニューアル1年を経過してホームページからの問合せや申込みも多くなってきて一定の効果が上がっている。

3. イベントへの参加

イベント	実施日時	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/16・17 10/15・16	各日会員他 4 名 包丁研ぎ延べ 133 本 PR グッズ延べ 1,200 個配布
八潮まつり	7/16・17	会員延 6 名 PR グッズ延べ 200 個配布 菓子・ジュースの販売・わなげ
品川第一地区まつり	8/21	会員 10 名 ポップコーン販売・パターゴルフ
シルバー成年式	9/10	会員 5 名 PR グッズ 800 個配布
武蔵小山一番通り 商栄会一番祭り	10/28～30	各日会員 5 名 包丁研ぎ延べ 189 本 PR グッズ延べ 600 個配布
大商業まつり	11/26	会員他 7 名 包丁研ぎ 86 本 PR グッズ 200 個配布
健康・生きがい フェスタ 2016	12/10	会員 2 名 PR グッズ 150 個配布
品川区消費生活展	2/12	会員 4 名 包丁研ぎ 26 本 PR グッズ 400 個配布

4. 機関誌等の発行

(1) シルバーしながわ

広報担当理事と職員による広報委員が各発行時期に合わせて編集会議を3回開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会の活動の様子などを取り上げた。

また、本部、支部、支所などの事務所周辺の季節の風景などを加えて読みやすく、親しみのある紙面づくりを心がけた。さらには、お仕事紹介と

して塗装工事、出張着付けなど普段あまり知られていない就業に従事している会員の様子を取り上げた。

年間発行回数 …… 4回（4月・7月・10月・1月）

(2) センター通信

会員向けの月刊誌として直近の情報を会員に知らせるとともに毎月、安全就業については欠かさず重要性を訴えた。また、就業中の会員には配分金明細書に同封するとともに、各事務所に置くことで未就業の会員も入手できるようにした。

毎月発行 …… 年間 12 回

事業3 研修・講習事業

1. 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。

年間実施回数 … 12 回 対象会員 … 平成 28 年度受講会員数 215 名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	32	22	24	17	17	12	16	11	11	11	19	23

研修プログラム

「接遇」 講師 (株)パトス

各委員長との顔合わせ

つま先立ち体操

センターの課題および挨拶

センター事業の説明

就業の相談、あっせん

会長

事務局長、事務局次長

各担当者

2. 各職群の研修

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施した。植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家が講師を務め、シルバーセンター管理業務では円滑な業務遂行に向けて初めてパソコン研修を実施するなど、外部講師を積極的に活用した。家事援助班・地域コンビニ班ではケアマネージャーの資格を有する既存の会員が講師となり介護に必要な知識を付与するセミナーや、在宅介護支援センターから講師を招き医学的な知識や経験談を学ぶ研修を実施するなど、介護支援システムを始めとした多様なニーズに応える為の知識の向上に努めた。

(1) 防災広場公園等清掃業務

4月19日

22名参加

(2) 公園清掃業務

7月14日

40名参加

(3) シルバーセンター管理業務	10月25・26日	20名参加
(4) 家事援助班・地域コンビニ班	11月12・18日	20名参加
(5) 資源回収業務	11月25日	88名参加
(6) 学校施設管理業務	2月27日	21名参加
(7) 植木作業班	3月2日	15名参加
(8) しながわ出合いの湯受付	3月10日	62名参加
(9) 喫煙マナーアップ啓発	3月13日	87名参加
(10) 児童通学確認業務	3月23日	142名参加
(11) 児童センター清掃・管理業務	3月30日	56名参加

講師：(3) は (有)フォーティ 斧田憲明様・川上絵美子様

(4) は ケアマネージャー有資格者の松金徳子会員・
台場在宅介護支援センター 谷川智宏様

(7) は 加藤造園 加藤信愛様・野口造園 野口忠男様

その他は担当者

3. 他機関での研修

(1) 東京しごと財団の就業支援講習会

会員の技術力の向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通じて会員の参加を実施した。

就業支援講習会	植木の基礎（除草と刈込み）	3名参加
	植木の剪定（初級）	3名参加
	刈払機作業従事者安全衛生教育	2名参加
	福祉・家事援助サービス	3名参加
	生活支援サービス（調理）	1名参加
	毛筆筆耕（宛名書き）	3名参加
	毛筆筆耕（賞状書き）	1名参加
	襖の張替え・障子の張替え	1名参加

(2) 第4ブロック共同研修

① 「事故の未然防止」講習	11名参加
② 救命救急講習	5名参加
③ 交通安全講習	16名参加
④ 「企画立案及び企画書の作り方」研修	2名参加

事業4 調査研究事業

センターの労働者派遣事業の検討を進めるために先進地区である石川県 SC 連合会と加賀市 SC の視察研修を実施した。理事会役員とセンター事務局職員が参加し、この研修の調査結果を今後の事業に活かしていく。また、引き続き都内など他センターが実施している先進事例を今後の調査対象にしていく。

事業5 相談事業

就業中、未就業中の会員など広く就業上の相談や悩みを理事が聞き取り今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりに活かした。また、会員増強の一環として、働く意欲のある高齢者が安心して入会できるように各地区で入会出張相談を行った。

1. 就業相談

総務部会担当理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部および荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第2木曜日 午後1時から午後4時まで

相談会員 45名（男性 25名、女性 20名）

その他、資料持ち帰りに多くの会員が来所した。

2. 入会出張相談

各地区の委員長が中心になってセンター事業や入会手続き等について説明、相談を行った。

各地区地域センターや文化センターで開催 実施回数 10回 相談者 41名

3. サポしながわとの連携

サポしながわと連携し、合同就職面接会を共催した。また、合同就職面接会場にて相談コーナーを設置し入会勧誘を行った。

開催回数 年2回実施 会場 きゅりあん 相談人数 14名

4. 会員交流コーナーの設置

本部、荏原支部、東大井支所に会員同士の日常的な交流の活発化や「お客様発注内容一覧表」など就業情報が得られやすい環境をつくるということで会員交流コーナーを整備した。理事の就業相談日に合わせて、毎月1回会員に開放した。

来所会員 58名

また、簡易なサービスを地域の会員同士が助け合う「シルバーお助け隊」を荏原地区にモデル設置して活動を開始した。

調査・相談会員数 16名

事業6 安全就業推進事業

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、ここ数年は事故件数が全く減らないという深刻な状況が続いていた。平成28年度はこうした重大な状況を踏まえて安全管理委員会を中心とした多様な取り組みの強化に努めてきた。その結果、初めて昨年度の傷害事故27件に対し、13件と半減することができた。これは、平成20年度以来の10件台の発生に留まったことになる。

事故概要については別紙資料集（1）のとおりだが、転倒事故が5件、転落事故

が1件、動作の反動が4件、交通事故が2件、その他1件となっている。このように積極的な取り組みの成果が表れてきたものではあるが、全国的には横断歩道を歩行中の子供、高齢者が事故に巻き込まれるケースなどが多くなっており、今後とも高齢者自らが再三再四の注意を図る必要性がある。したがって、引き続き安全就業の取り組みを継続していくことが重要である。

1. 安全就業強化の取り組み

(1) 職群班の技能研修や打ち合わせ会を安全集会を兼ねたものと位置付け、安全管理委員も参加して開催した。開催された9職群では、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指差し唱和の訓練、KY運動の継続など最後にそれぞれ安全宣言等を採用し、安全就業の徹底を確認した。

①防災広場公園等清掃業務	4月19日	22名参加
②公園清掃業務	7月14日	40名参加
③資源回収業務	11月25日	88名参加
④学校施設管理業務	2月27日	21名参加
⑤植木作業班	3月2日	15名参加
⑥しながわ出会いの湯受付	3月10日	62名参加
⑦喫煙マナーアップ啓発	3月13日	87名参加
⑧児童通学確認業務	3月23日	142名参加
⑨児童センター清掃・管理業務	3月30日	56名参加

(2) 安全就業研修の実施

研修・講習事業の欄に記載したとおり、事故の未然防止講習、救急救命講習、交通安全研修などを実施した。その他、東京しごと財団が主催する安全講習会へ役員・会員が参加した。

①植木剪定就業安全研修会	(4/8)	3名参加
②安全リーダー研修会	(7/25)	2名参加
③転倒予防勉強会	(8/24)	1名参加
④しごと財団安全大会	(9/30)	2名参加
⑤ミルターを使った自転車安全講習会	(10/19)	1名参加

(3) 会員への注意喚起の取り組み

①事故注意喚起ちらしの配布

事故原因で上位を占める転倒事故や夏場の熱中症、冬場の路面凍結や降雪時の転倒事故等、年間を通じて事故注意喚起ちらしを配布し、会員への意識啓発の強化を図った。

配分金明細書送付の際にちらし同封 随時
シルバーしながわ4月号と一緒に配布 1回(全会員)

②「センター通信」、「シルバーしながわ」の活用

毎回、センターで発生した事事例を紹介し、安全就業や就業途上の事故防止の注意喚起、KY運動についてその意義を説明し、指差し呼称、指差し唱和、健康診断受診奨励などをPRした。

2. 安全就業基準の徹底

- ①植木班、除草班を中心に安全講習会で安全就業基準の再確認をした。
- ②植木班では、就業前からのヘルメットの着用徹底、ヘルメット貸与時にシールを貼って意識啓発を図った。また、除草班にもヘルメットを配付し、着用を義務づけた。
- ③高所作業の際の脚立の適正使用の遵守について、安全就業10ヶ条の啓発ちらしを活用して就業前や就業報告書の提出時に担当者から呼び掛けた。
- ④転倒防止対策の一環として、センターの会議や職群研修で実施していた「つま先立ち体操」を各会員も就業前に実践するよう安全集会での実施や広報紙での啓発を図った。

3. 安全管理委員会活動状況

(1) 安全管理委員会の開催

定期開催 年4回(4月・6月・10月・3月)

そのうち2回(6月・10月)は地区委員長との合同開催

(2) 安全パトロールの実施

植木現場を中心に予定回数を大幅に上回る年間14回の安全パトロールを行い、事故防止を呼び掛けた。

実施日	パトロール場所	指摘、留意事項	参加者
5/28	植木現場2件 資源回収2カ所	会員証の不携帯を指導。	安全管理委員長 他2名
6/30	植木現場3件	門柱の上で剪定作業をしており嚴重注意。他の植木班全員へこの事例を通知して注意喚起した。	安全管理委員長 他2名
7/14	植木現場4件	熱中症への対応について説明。また茶毒蛾・蜂に対する注意。梯子固定・安全带・安全帽の着用を確認。	安全管理副委員長 他2名
7/29	植木現場3件	木には登っていなかったが、安全帽のあごひもが留まっていなかったので嚴重注意。	安全管理委員長 他3名
8/25	植木現場2件 マンション清掃1件	会員証の不携帯や段差の注意等を指導。植木班には作業中の看板設置を指導。	安全管理委員長 他3名

実施日	パトロール場所	指摘、留意事項	参加者
9/12	植木現場 2 件 公園清掃 1 件 自転車駐輪場 1 件	植木現場の内 1 件では安全帯を 2 本掛けで使用しており、安全意識を高く持っていた。もう一件では三脚の使用方法で、地面の凸凹にもう少し注意を払うよう指導。	安全管理委員長 他 3 名
10/14	植木現場 4 件	安全帯の着用で、周りの木につける場所がないと主張し、未着用があった為、注意喚起する。	安全管理委員長 他 2 名
11/17	植木現場 4 件	指導事項無し。体調管理に注意するよう声掛け。	安全管理副委員長 他 3 名
11/29	植木現場 5 件	現場において刈込バサミの刃を上に向けていた事象があった為、指導。	安全管理副委員長 他 3 名
12/8	植木現場 5 件	除草班の会員を植木現場の手伝いに呼んでいたが、安全帯を持っているにもかかわらず未着用。嚴重注意。	安全管理副委員長 他 3 名
1/14	学校施設開放管理 3 校	一人就業の現場で、要望、質問等を受けた。特に夜間の巡回は気をつけるよう声掛けした。	安全管理副委員長 他 2 名
2/4	学校施設開放管理 3 校	各会員無理なく適切に対応作業していた。	安全管理副委員長 他 2 名
2/14	シルバーセンター 受付 3 館	各会員無理なく適切に対応作業していた。急坂で道路状況が悪いところもあり注意喚起。	安全管理副委員長 他 2 名
3/17	学校施設開放管理 2 校	段差等への注意喚起を行う。	久保田局長他 3 名

その他

9/2 しごと財団 安全パトロール 丸山指導員が来所、午前中に植木現場 1 件
マンション清掃 1 件の巡回を丸山指導員・安全管理委員長他 2 名で実施

(3) 安全就業強化月間

7 月、11 月、2 月と 3 回実施した。各安全就業強化月間の共通の取組みとして事故防止の注意喚起ちらしを配布、シルバーしながわでの安全就業に関する特集記事、センター通信等での就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を実施した。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し呼び掛けた。

① 7 月のその他の取り組み

- ・熱中症・茶毒蛾・蜂等に対する注意喚起ちらしを配分金明細書に同封した。
- ・各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起ちらしと熱中症対策

塩飴を配付した。

- ・各事務所を猛暑避難拠点（避暑シェルター）として麦茶を用意した。
- ・夏の地区全体会において安全管理委員による安全講習を実施した。

② 11月のその他の実施事業

- ・資源回収班の職群会議に安全管理委員も出席し安全集会として実施した。
- ・各事務所で来所会員に風邪予防の「のど飴」の配付。
- ・就業経路上の転倒事故・自転車事故防止ちらしの配付
- ・安全標語の募集

③ 2月のその他の実施事業

- ・各事務所で転倒防止や路面凍結に注意喚起ちらしと風邪予防の「のど飴」を配付した。

(4) 事故再発防止講習会

発生した事故要因を率直に振り返り、今後の事故防止対策に活かしていくとの趣旨で事故当事者を対象に再発防止講習会を実施した。事故原因を自らが分析してもらった結果、注意不足、うっかりしていた等の声が大半でありさらなる注意喚起の強化の必要性を明確化した。

実施日	8月26日	13名出席
	3月15日	3名出席
	3月31日	2名出席

(5) その他の取組み

年間を通じて安全就業用帽子の配布、安全就業用ベストの貸与を継続。
懐中電灯の配布

センターで実際に発生した過去の事故事例の集約に努めた。次年度には過去の事故事例集として策定していく。

4. シルバー保険、自転車総合保険の加入斡旋

(1) シルバー保険加入 2,438 件（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(2) 自転車総合保険の加入の斡旋

保険加入者数 平成 28 年 10 月 1 日現在 452 人

5. 植木班の安全就業への独自の取組み

(1) 安全具の適正使用

現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に応じ着用した。安全パトロールで確認したが違反は皆無であった。

(2) 職群会議および安全講習会の実施

職群班会議を 4 月と 3 月に開催するとともに、悉皆研修として位置づけた安全講習会を 3 月に実施した。植木班全員が受講し事故の再発防止に努めた結果、傷害事故は 0 件であった。

(3) 体調管理

体調に関するアンケート調査を会員の家族の協力のもとで実施するとともに、作業量の見直しを行い繁忙期でも週1回、出来れば週2日休むことなどを決定した。

Ⅲ 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、毎日の清掃、不法駐輪・駐車撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。

実績額 940万円

Ⅳ 法人運営（法人会計）

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

1. 平成28年度定時総会

開催日時 平成28年6月10日（金） 午後1時30分～
開催場所 品川区東大井5-18-1 きゅりあん（大ホール）
会員数 2,513名
出席会員数 1,782名（内委任状1,363名）
定足数 1,257名（会員数の2分の1）
議 案

第1号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成27年度決算報告

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成27年度事業報告

公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成28年度事業計画及び収支予算書

2. 理事会および監査

理事会等を定期的で開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年…12回開催

三役会 年…11回開催

監査 年…2回開催

2.会 員 の 状 況

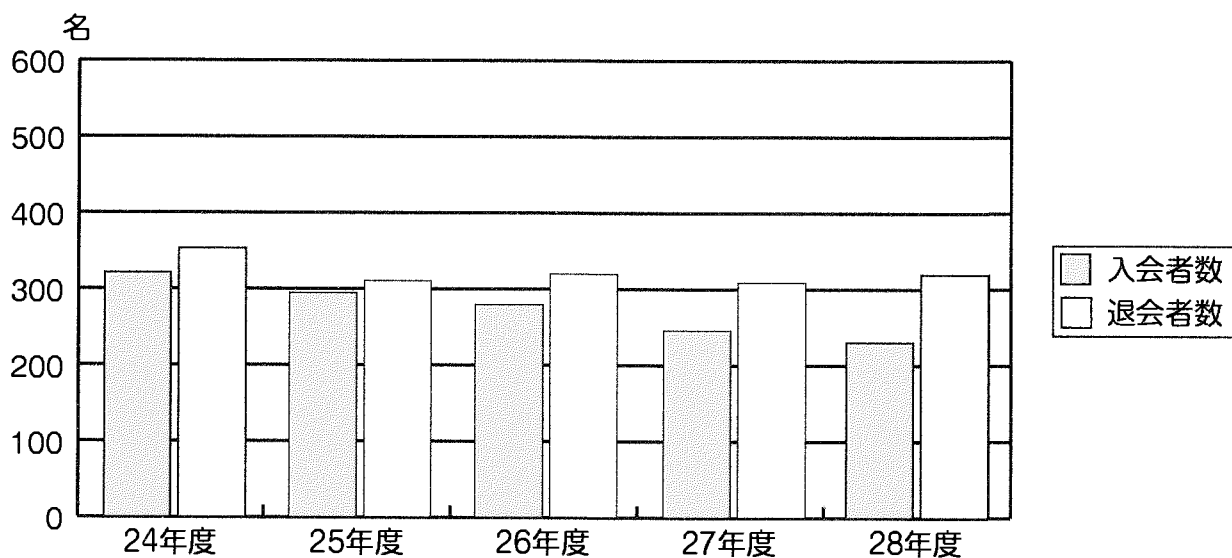
(1) 会員の入退会者数

年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男	女	男	女	男	女	計
28.4	36	36	48	28	1,441	1,068	2,509
5	10	17	55	33	1,396	1,052	2,448
6	14	13	10	15	1,400	1,050	2,450
7	14	10	5	7	1,409	1,053	2,462
8	6	6	4	7	1,411	1,052	2,463
9	10	4	11	5	1,410	1,051	2,461
10	6	10	11	8	1,405	1,053	2,458
11	7	8	6	1	1,406	1,060	2,466
12	3	7	9	8	1,400	1,059	2,459
29.1	5	5	5	6	1,400	1,058	2,458
2	3	1	8	5	1,395	1,054	2,449
3	2	1	6	8	1,391	1,047	2,438
合 計	116	118	178	131			

退会理由

病 気	108 名	家庭の事情(介護等)	11 名
就 職	26 名	会 費 未 納	63 名
死 亡	25 名	加 齢	32 名
転 居	21 名	センター運営に対する不満	1 名
希望する仕事なし	7 名	未回答(不明)	1 名
就業機会なし	4 名	そ の 他	10 名
		合 計	309 名

(2) 会員の入退会者数の推移 (過去5年間)



区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入会者数	318	295	277	242	234
退会者数	349	307	316	304	309

(3) 会員の年齢別内訳

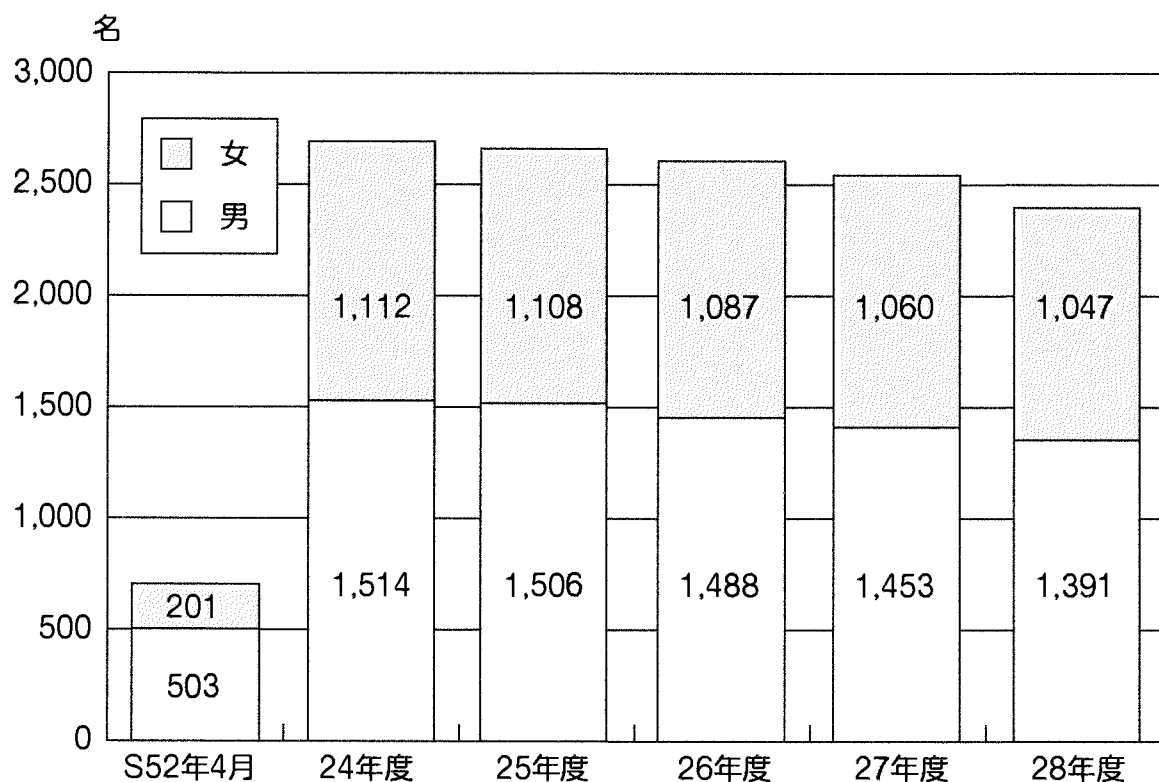
平成29年3月31日現在

	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
男	1	30	246	402	396	316	1,391
女	0	33	191	320	294	209	1,047
計	1	63	437	722	690	525	2,438

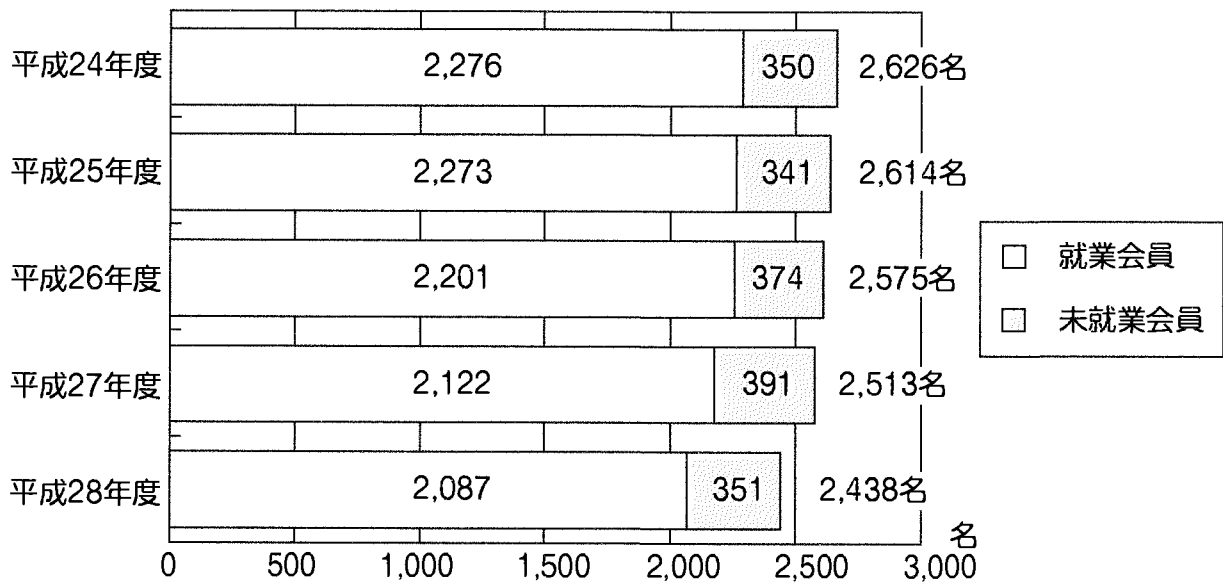
- ・会員の男女比 男性 57.1% 女性 42.9%
- ・平均年齢 男性 75.3歳 女性 74.8歳
- ・最高年齢 男性 94歳 女性 91歳

(4) 会員数の推移

	S52年4月	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
男	503	1,514	1,506	1,488	1,453	1,391
女	201	1,112	1,108	1,087	1,060	1,047
計	704	2,626	2,614	2,575	2,513	2,438



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成24年度	1,858	1,875	1,881	1,877	1,875	1,915	1,872	1,894	1,892	1,845	1,841	1,850	2,276
平成25年度	1,897	1,896	1,902	1,906	1,849	1,905	1,858	1,867	1,838	1,831	1,847	1,831	2,273
平成26年度	1,875	1,851	1,862	1,846	1,810	1,856	1,818	1,794	1,779	1,788	1,770	1,765	2,201
平成27年度	1,819	1,818	1,825	1,801	1,761	1,829	1,809	1,808	1,776	1,755	1,760	1,779	2,122
平成28年度	1,792	1,783	1,805	1,800	1,765	1,815	1,775	1,793	1,767	1,745	1,749	1,737	2,087

3. 事業実績

(1) 平成28年度月別事業実績

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,509	公共	50	1,140	8,332	32,662,478	950,599	3,650,109	37,263,186
		民間	1,391	2,320	17,083	61,229,872	797,402	5,016,298	67,043,572
		計	1,441	3,460	25,415	93,892,350	1,748,001	8,666,407	104,306,758
5月	2,448	公共	59	1,137	8,332	31,881,756	696,643	2,898,001	35,476,400
		民間	1,510	2,380	17,108	63,798,023	1,197,079	5,257,074	70,252,176
		計	1,569	3,517	25,440	95,679,779	1,893,722	8,155,075	105,728,576
6月	2,450	公共	49	1,203	9,125	32,625,534	987,895	2,778,844	36,392,273
		民間	1,550	2,691	18,622	66,568,848	927,986	5,565,390	73,062,224
		計	1,599	3,894	27,747	99,194,382	1,915,881	8,344,234	109,454,497
7月	2,462	公共	50	1,399	9,640	42,280,043	1,011,207	4,261,805	47,553,055
		民間	1,481	2,355	17,447	64,490,778	1,007,511	5,347,076	70,845,365
		計	1,531	3,754	27,087	106,770,821	2,018,718	9,608,881	118,398,420
8月	2,463	公共	54	1,313	8,380	31,245,269	1,005,486	2,409,811	34,660,566
		民間	1,403	2,480	18,193	64,433,628	1,276,638	5,599,003	71,309,269
		計	1,457	3,793	26,573	95,678,897	2,282,124	8,008,814	105,969,835
9月	2,461	公共	55	1,059	8,579	30,897,970	1,671,467	3,381,686	35,951,123
		民間	1,437	2,581	18,147	65,434,414	1,172,048	5,935,896	72,542,358
		計	1,492	3,640	26,726	96,332,384	2,843,515	9,317,582	108,493,481
10月	2,458	公共	55	1,132	8,548	32,303,163	807,054	3,244,279	36,354,496
		民間	1,571	2,542	17,487	63,133,099	973,304	5,462,280	69,568,683
		計	1,626	3,674	26,035	95,436,262	1,780,358	8,706,559	105,923,179
11月	2,466	公共	57	1,187	8,457	31,651,584	772,529	2,981,151	35,405,264
		民間	1,543	2,590	17,712	64,933,940	970,739	5,643,387	71,548,066
		計	1,600	3,777	26,169	96,585,524	1,743,268	8,624,538	106,953,330
12月	2,459	公共	48	981	7,114	27,342,864	918,655	2,796,380	31,057,899
		民間	1,468	2,471	17,630	62,007,377	962,814	5,322,350	68,292,541
		計	1,516	3,452	24,744	89,350,241	1,881,469	8,118,730	99,350,440
1月	2,458	公共	51	1,162	7,708	28,799,524	957,984	2,880,131	32,637,639
		民間	1,183	1,900	15,726	54,583,276	677,814	4,602,713	59,863,803
		計	1,234	3,062	23,434	83,382,800	1,635,798	7,482,844	92,501,442
2月	2,449	公共	54	1,208	8,379	30,376,828	1,006,644	3,005,568	34,389,040
		民間	1,226	2,223	16,125	55,553,059	689,031	4,788,288	61,030,378
		計	1,280	3,431	24,504	85,929,887	1,695,675	7,793,856	95,419,418
3月	2,438	公共	67	1,206	8,650	31,774,586	1,089,548	2,977,539	35,841,673
		民間	1,289	2,201	17,509	61,186,023	1,154,531	5,473,643	67,814,197
		計	1,356	3,407	26,159	92,960,609	2,244,079	8,451,182	103,655,870
累 計		公共	649	14,127	101,244	383,841,599	11,875,711	37,265,304	432,982,614
		民間	17,052	28,734	208,789	747,352,337	11,806,897	64,013,398	823,172,632
		計	17,701	42,861	310,033	1,131,193,936	23,682,608	101,278,702	1,256,155,246

(2) 会員の職群別就業実績

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	4,397	15,604,399	4,397	15,604,399	1.4
2.技能群	221	1,920,580	8,523	67,383,858	8,744	69,304,438	6.1
3.事務整理群	3,349	10,405,614	13,244	27,603,933	16,593	38,009,547	3.4
4.管理群	36,194	195,705,145	17,773	74,861,122	53,967	270,566,267	23.9
5.折衝外交群	665	2,179,760	1,004	3,757,056	1,669	5,936,816	0.5
6.軽作業群	27,134	91,315,152	146,679	524,617,774	173,813	615,932,926	54.5
7.サービス群	33,681	82,315,348	17,169	33,524,195	50,850	115,839,543	10.2
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	101,244	383,841,599	208,789	747,352,337	310,033	1,131,193,936	100.0
構成比%	32.7	33.9	67.3	66.1	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

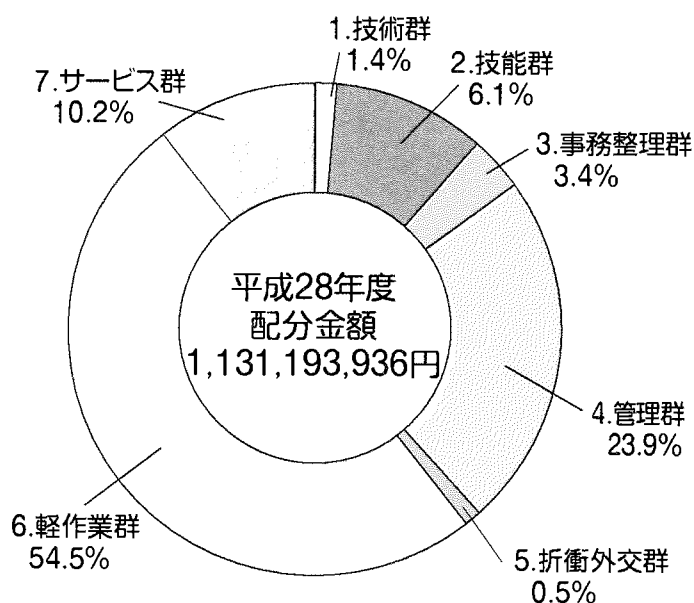
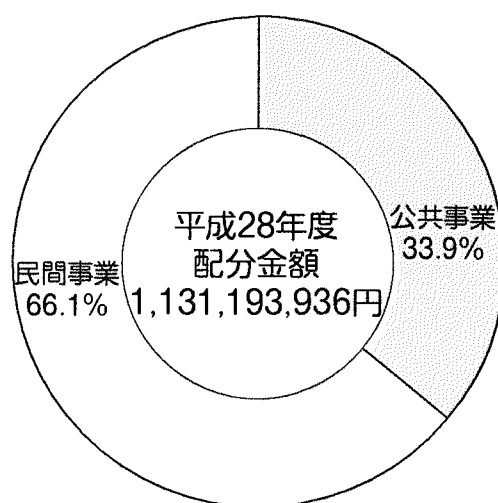


図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成24年度	公共	647	111,883	408,986,318	18,213,387	37,104,523	464,304,228	35.6 : 64.4
	民間	16,061	217,495	766,644,035	12,226,490	61,633,514	840,504,039	
	計	16,708	329,378	1,175,630,353	30,439,877	98,738,037	1,304,808,267	
平成25年度	公共	630	104,197	377,976,075	11,892,128	33,969,126	423,837,329	32.9 : 67.1
	民間	16,301	29,863	793,243,984	12,362,354	58,588,478	864,194,816	
	計	16,931	134,060	1,171,220,059	24,254,482	92,557,604	1,288,032,145	
平成26年度	公共	634	101,670	376,053,195	11,976,546	37,393,747	425,423,488	33.2 : 66.8
	民間	16,720	209,955	778,320,934	10,774,713	65,125,349	854,220,996	
	計	17,354	311,625	1,154,374,129	22,751,259	102,519,096	1,279,644,484	
平成27年度	公共	613	101,261	367,618,988	12,716,313	37,186,798	417,522,099	33.2 : 66.8
	民間	17,223	213,336	762,803,254	12,247,611	64,827,383	839,878,248	
	計	17,836	314,597	1,130,422,242	24,963,924	102,014,181	1,257,400,347	
平成28年度	公共	649	101,244	383,841,599	11,875,711	37,265,304	432,982,614	34.5 : 65.5
	民間	17,052	208,789	747,352,337	11,806,897	64,013,398	823,172,632	
	計	17,701	310,033	1,131,193,936	23,682,608	101,278,702	1,256,155,246	

図－3 各年度別事業実績の推移

